

情報学委員会デジタル社会を支える安全安心技術分科会-(第25期・第8回)
議事次第

日時 令和4年7/6(水) 14:00~16:00

場所 zoomミーティング

出席予定者:(敬称略) 馬奈木俊介, 木村道男, 澤芳樹, 高田広章, 岩村誠, 佐藤一郎, 柴山悦哉, 須藤修, 高木直史, 中尾彰宏, 松浦幹太, 安浦寛人, 宮地充子
(オブザーバ参加): 文部科学省高等教育局専門教育課 中澤恵太

0. 開催: 14:05 -

1. 見解むけ話題提供 14:05-14:45 + 14:45 - 15:25

1-1 14:05-14:45

佐藤 一郎 (国立情報学研究所情報社会相関研究系 教授)

(講演 30分) + (質疑 10分)

(資料 1: 講演スライド)

(仮題) プライバシ保護とデジタル社会の両立にむけて

1-2 14:45-15:25

中澤 恵太 (文部科学省高等教育局専門教育課 企画官)

(講演 30分) + (質疑 10分)

(資料 2: 講演スライド)

(仮題) デジタル社会を支えるリスキング・リカレント教育に向けて

2. 全体議論 10分 15:25 - 15:35

3. 見解執筆 15:35 - 15:55

(資料 3: 見解素案, 資料 4: 見解関係資料)

4. 今後の予定

15:55 - 16:00

見解目次

1. デジタル社会の推進の課題

2. デジタル社会の推進に向けての警鐘

2-1 デジタル社会のセキュリティ脅威

2-2 デジタル社会での個人情報, プライバシ

2-3 デジタル化の遅れに伴うリスク

3. デジタル社会普及への取組と課題

3-1 地方からの事例

3-2 公共事業の事例 (cocoa の事例)

3-3 欧州の事例

3-4 医療の観点から (導入しないリスクの記載もできるなら, 記載できると良い) 4.

脅威軽減技術の紹介

4-1 サイバーセキュリティ技術 (NW)

4-2 プライバシー保護技術

5. 安全なデジタル社会構築に向けて

5-1 リスキリング等によるデジタル人員強化,

5-2 個人情報・プライバシー保護とデジタル社会の両立

5-3 サイバー攻撃を見据えたデジタル社会の設計(システムをつくる側)

5-4 情報共有推進とインシデント発生時の相互援助や共有情報の活用制度設計
(IPA・JPCERT, ICT-ISAC アイザックとの取組)

5-5 デジタル技術の社会受容性(システムを利用する側)

(アジャイル開発の許容, 許容できるリスクの設定が必要, コストの必要性→社会基盤については国がもつ, 慣習, リテラシー教育)

5-6 研究力強化

6, まとめ